

What is Re:Design that X-Tech5 thinks?

Re:Design Infrastructure Service

X-Tech5



5 X-Tech

Sharing our thoughts
on the ideal IT infrastructure
that should be
in the age of
digital transformation.

The True Value is in the Cloud

クラウドの真価を発揮するX-Tech5の技術力

X-Tech5は、クラウド系のSIとしてAWS (Amazonが提供するクラウドサービス)の導入・運用をサポートしていたメンバーが集まって2019年8月に創業しました。

我々はクラウドが世界で広がりはじめた約10年前から、クラウド事業に着目してきました。その後、日本でクラウド事業を立ち上げ、成果を果たして業界をリードしてきたノウハウをもとに、これからはこれまでのITシステムに固執しない新しいクラウドのサービスを提供していきたいと考えています。

ITシステムはこれまでサーバによる運用が主体となっていましたが、現在クラウド上での運用へと急激に移行が進んでいる状況です。このようなハード面の変化は、エンドユーザーの利便性にも大きな影響を与えることになります。逆にいえば、エンドユーザーが求める利便性を実現するために、新たなハードとなるクラウドが生まれてもきたのです。しかし、実際にサーバからクラウドに移行したからといって、運用サイドがその利点をいかす工夫をしなければ、エンドユーザーのサービスはサーバであってもクラウドであっても何も変化することはないという実態があります。その点において、革新的な変化を促していくことが我々の役割であると考えています。



ITインフラを活用したサービスが 「本当に行くべき未来」を 示していきたい

その変化とは、たとえば何かしらの障害が起きたときのケースを考えてみましょう。サーバ運用では、一旦サービスを停止して修正するまで再開することができません。サーバの設置には相応のコストがかかり、設備として持ち続ける必要があります。簡単に増設や新設をすることはできないため、なんとか必死に問題点を突き止めて復旧させるしかありませんでした。

しかし、クラウドならば障害が起きている部分をそのまま放置しても大きなコストはかかりません。新しいクラウド使って一旦サービスを復旧し、その後でトラブルの原因を探って、解決することもできます。

ビジネスの観点から言えば、本来、トラブルを復旧させることよりもサービスを継続することが大切です。にもかかわらず、それを実際に行っているケースはそれほど多くないのが現状です。

現在、運用のハードがサーバからクラウドに変わること、たしかにクラウドを使う企業のコストやリスクなどは変化しました。しかし、クラウドはそれだけの存在ではなく、もっと社会の大きな変化を担う可能性を秘めた存在なのです。

我々はITインフラの構築サービス提供者として、ITインフラを活用したサービスが「本当に行くべき未来」を示していきたい、また、やらなければいけないという使命を持って、X-Tech5という会社を立ち上げました。そして、我々だけがそれを発信していくのではなく、社会に広めていくために賛同してくれるひとたちと協力して新しいことをやっていきたいと考えています。

A New Era of IT Systems

X-Tech5が提供するITシステムの新しい時代

我々がいま提供しているサービスは、これまで我々がリードポジションで培ってきた経験を、これからクラウド事業をやりたいと思っているプレイヤーの方々にコンサルタントとして提供することです。

近年、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が叫ばれ、ITを活用したビジネスが加速的に進んでいます。ビジネスのスピード感がこれまで以上に上がっていきなかで、ITシステムの導入から運用の在り方まで、なにもかもが従来のやりかたでは追いつかなくなっているのを感じている方も多いと思います。

そのスピード感のなか、ユーザーが望む体験を適切に提供していくのはもちろんのこと、本来ビジネスとして目指す「ユーザーの期待を上回るサービス」を提供していくことのハードルはますます上がっています。

DXとは、これまでITが使われていなかった部分に、ただITを導入すればいいというわけではありません。しかし、現状はそれで満足

している部分が大半という現状があります。

我々が本来目指すべきITの世界は、ITを使うことでより便利になることであるはずですが。そのために、何かが起こったときに対処してはもう遅い。これまでに起きたトラブルケースを蓄積し、事前にトラブルへの対策を持ちながら対応していく必要があります。そして、そのケースは常にアップデートしていかなければいけません。そこで、現在我々が注力しているのが、そのノウハウを提供していくサービスです。

我々が直接コンサルタントをしていくだけでは、できる件数も限られます。そこで、コンサルタントできる仲間をどんどん増やし、ケースをさらに蓄積していくことで、さらにアップデートされたITシステムを提供していくことができると考えています。

ITシステムはこれまでのように、一度作ったら終わりにはなりません。常にアップデートを繰り返し、その瞬間瞬間で最適な状況に育てていかなければならないのです。



常にアップデートを繰り返し、

その瞬間瞬間で最適な状況に育てていかなければならない

Constantly update, You have to bring up the optimum situation at that moment



Redesigning the System as the Times Change

時代の変化とともに「システムをRe:Design(再定義)」する

時代は刻々と変化し、エンドユーザーのニーズもどんどん変わっていきます。しかし、ある時点をスナップショットして“もの”として一旦実装してしまうと、すぐに変えることはなかなかできません。クラウドが生まれるまでの長い間、我々はそうやってさまざまなものを作ってきました。誰の助言も受けることなく、その呪縛から逃れるのは、なかなか難しいことでもあります。

ものに限らず、業務のプロセスであっても、ある時点で「これが正しいです」と一度決めてしまったら、5年10年先もそのまま変わることがありません。しかし、今の時代で5年も経てば、それは時代遅れになってしまっているのです。

我々のミッションである「Re:Design(システムの再定義)」とは、10年どころか5年も放置することなく、そのスナップショットを瞬間瞬間で切り取り続けることです。今その瞬間、その時代をITシステムやサービスに反映させ続けていくことです。

ITインフラの世界は、2000年頃までは10年単位で変わらないものでした。しかし、2010年からは5年単位くらいで変化するようになり、2020年代になると今度は3年単位で変化していかなければいけない時代になっていきます。

このように徐々に変化が激しくなっていく環境では、新しく参入してくる人たちが最新の状況に対応していく一方で、以前からやっていた人たちは古い状況に取り残されるというグラデーションが起こってきます。そこで取り残されることなく、常に新しい状況へ対応し続けていくことこそ、「Re:Design」のコンセプトでもあります。

クラウドが誕生し、ビジネスの変化のスピードは加速しました。親和性の高いOS、便利なツール、外部連携するようなサービスなど、すべてがつながっていくようなIT周りの変化は、クラウドが起こしたと言っても過言ではありません。

しかし、実はITが広まったことでビジネスの変化は既に年々加速しており、その解決策のひとつとして生まれたのがクラウドでもあります。ビジネスの変化スピードに追いつくために、次に必要となるのはクラウドの活用を最適化していくことです。

繰り返しになりますが、時代と共にビジネスがどんどん変化していくなかで、なかなか変わらない人もいます。その変わらない人達に対して、どう運用に落とし込むか、どうシステムに落とし込むかということを常に伝え続けていく、ある意味業界をバージョンアップし続けていく役割を担うことが我々の使命だと考えています。

そのために、我々が見てる視点は常に2~3歩先でありながら、0.5歩先の技術を提供し続けます。つまり、時代の大局を見ながら、エンドユーザーが求めるジャストの少し先を常に提供し続けていくことが大切だと考えているのです。



業界をバージョンアップし
続けていく役割を担うことが
我々の使命

Our mission is to play a role in
continuing to upgrade the industry



X-Tech5

名称	株式会社X-Tech5 (クロステックファイブ)
設立	2019年8月8日
代表取締役	石田知也
事業内容	ユーザ体験(UX)を中心にした運用プラットフォームの提供
連絡先	info@x-tech5.co.jp
本社所在地	東京都新宿区